



No. **4**

発行者 沼津市商工会
 会長 松永公良
 沼津市原1200番地の1
 TEL (055) 966-1331
 FAX (055) 967-4925
 編集 沼津市商工会広報委員会



6月1日 伊豆の山々を背に網引き大会 (2面に詳細)

商工会と観光協会の強い連携を



戸田観光協会
 会長 川合 健次

伊豆の観光は大変厳しい状況にあり、戸田地区におきましても平成十六年度の宿泊客数が二十五万人から平成十九年度は十三万人と約二分の一に減少しました。旅行形態の変化、原油の高騰、物価の上昇等による旅行控えもありますが、戸田地区観光が旅行需要の変化に対応ができていくのかどうか疑問もあります。

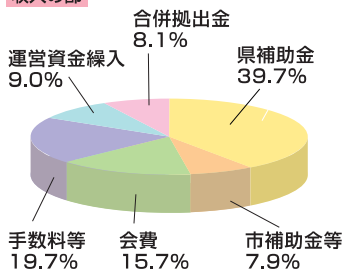
このような状況下、戸田観光協会におきましては、桜・スカシゆりの植樹等による自然の保護・育成、ごぜ芸能まつりによる歴史・文化の発信、サンセットクルーズ、ナイト(いさり火)クルーズ等による海の自然体験等、試行錯誤しながら魅力ある観光地を模

索しています。そして、地域の食材を生かした食の開発、洋式造船建造発祥の地としてロシアとの歴史的交流の顕彰等、魅力ある観光地作りの素材の開発をしていながら十年後、二十年後の魅力ある観光地作りに邁進したいと思

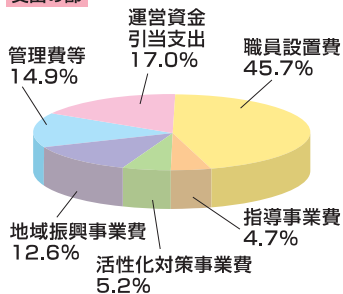
今後、魅力ある観光地作りをするためには、協会のみでは到底限界があり、商工会と連携をしながら、各種団体との一体化に向けた行動が是非必要であると思います。平成十七年に沼津市と戸田村の合併、そして今年度、原町商工会と戸田村商工会との合併がありました。これにより益々交流を深め、もつともつと戸田を知っていただき、戸田地区が沼津市民の癒しの場、憩いの場となれますよう頑張る所存です。まずは大勢の沼津市民が「魅力ある観光地」戸田を訪れていたければ幸いです。皆様方の益々のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成20年度収支予算の構成
予算額11,161万円

収入の部



支出の部



松永会長の挨拶

平成20年度 沼津市商工会通常総代会

沼津市商工会として第一回の通常総代会が、五月二十六日ブケ東海に於いて、議政、金融機関等の多くの来賓を迎え、盛大に行われました。



今回から、合併による会員数の増大に伴い、これまでの総会制から定数一一〇人の総代会制となりました。

総代会では、まず、旧原町と旧戸田村商工会の昨年度の事業報告と収支決算、次いで、新沼津市商工会としての本年度の事業計画と収支予算が審議されました。事務局の説明は映像を使って行われ、会場の大スクリーンにグラフィや写真が映し出されました。

続いて、運営資金の借入、任期満了に伴う役員選任の審議が行われ、特に役員選任については現行の役員全員が再任されました。

全ての議案が承認され、審議が終了したところで、女性部長の先導により「男女共同参画社会づくり宣言」が出席

網引き大会

初夏の太陽が燦々と降注ぐ六月一日に、恒例の網引き大会が原海岸で開催されました。幸運にも前日の寒い悪天候から一転して、波の静かな穏やかな過ごしやす日となりました。目の前には、大瀬崎の先の戸田の井田もはっきり



総代会で承認された本年度の事業方針は、行動する商工会。『提案・連携する商工会』。『挑戦・飛躍する商工会』を基本理念として、次の事業を強力に進めることとなりました。

- ① 経営改善普及事業の推進
- ② 会員増強運動の推進
- ③ 財政基盤強化の推進
- ④ 役職員一体となった意識改革の推進

見え、陸路と違って合併した戸田が近くに感じます。

網引きは二回行われ、捕れた魚は本当に新鮮な内に料理され参加者に食されました。

子供達は網に入ったエイや鮫、魚の稚魚に驚きの表情を隠せません。参加者には、青年部の焼きそば・女性部のみそ汁・東海大学の焼き肉と飲み物が供されました。どれも皆美味しく、それと見事な包丁さばきが素晴らしい本職鮫職人さんによる鮪と鰹の刺身は行列が出来ていました。

近くにあっても来る機会が少ない海岸で、十分に心身に栄養を与えられた一日でした。

久保田 正彦

ローンの御相談はさんしんへ
三島信用金庫 原町支店
〒410-0312 沼津市原195番地の6 TEL(055)966-1511

静岡銀行 原町支店
SHIZUOKA BANK
〒410-0312 沼津市原195番地の8
TEL(055)966-1010 FAX(055)966-8309

あん しん for you
安・信・豊・澁
みなさまの暮らしに、安心と信頼をお届けします。
JAなんすん 原支店
〒410-0312 沼津市原349-3
TEL(055)966-0600 FAX(055)966-0722

沼津信用金庫 原支店
沼津市原町中3-13-23 TEL(055)967-6567
ホームページ・アドレス http://www.numashin.co.jp/

第29回 戸田港まつり プログラム

日時:平成20年7月19日(土) 場所:お祭り広場(中央棧橋)

- 13:00~ ◆開会式(中央棧橋)
 - ・塩衣の式
来賓、役員、関係者が港に感謝し、清めの塩をかぶり(衣り)魔除をして祭の安全無事を祈願する塩衣の式を行います。
 - ・来賓、役員、関係者が船で戸田港を巡回する。
- 14:00~ ◆にぎわい港ショー①
- 18:30~ ◆にぎわい港ショー②
(お祭り広場、雨天の場合中学校体育館)
よさこい、フラダンス、黒潮太鼓等歌と踊りの舞台演芸が行なわれる。
- 19:00~21:00 ◆無料納涼船(20:20最終乗船)
- 20:30~ ◆海上花火大会(戸田港)
船上黒潮太鼓の音とともに戸田港から30分間で約1200発の花火が打ち上げられフィナーレを迎える。
- 21:00~ ◆塩帰の式
祭の無事終了に感謝し、塩を海に帰し閉会する。

お問い合わせ先 沼津市商工会 戸田支所 0558-94-2224
戸田観光協会 0558-94-3115



海上花火大会

戸田支所だより



にぎわい港ショー

今年五月に専務(裕介さん)が拳式をあげた「海のほてるいさば」をおじゃましました。現三代目社長の川合健次さんは、戸田観光協会長と沼津市商工会観光部長を兼務し、毎日超多忙な生活を送っています。そのため、会社の仕事は主に女将さんと専務が切り盛りしています。

そこに専務に待望のお嫁さん(美絵さん)がやってきました。三年前に友人の紹介で知り合い、美絵さんは結婚するならこの人しかいないと思つたそうです。(ハイハイ)

美絵さんは沼津市江川の出身で医療法人 駿東育愛会 望星第一クリニックで働いていました。現在、臨床工学技士の資格を持ってしています。結婚後、ホテルのフロントで働き始めましたが、一番の違いは以前、病院

おじゃまします 第三巻 海のほてるいさば




専務(裕介) 美絵 女将(克枝) 社長(健次)

という環境でしたので、笑つてばかりいられません。しかし、ホテルでは笑顔が仕事であるだけに戸惑つたそうです。一日も早く女将さんのように心からお客さんをもてなす笑顔ができるようになりたいと語っていました。

写真のとおり専務と美絵さんは体重が二、三倍違います。しかし、美絵さんは、とても頑張り屋さんで今は将来に備え、英会話と中国語を勉強しています。また、専務も20%ダイエットに励んでいます。(要望)若い二人のインタビューを終えて、今後のいさばさんの将来が見えてきました。

電話 0558-94-3048



食中毒予防の決め手はあなたの手

沼津食品衛生協会 戸田支部

支部長 原田 晟
事務局 沼津市商工会 戸田支所
0558-94-2224
(担当 監物)

— 創業明治参年 味わいの宿 —



高足ガニとエビカニづくしの磯料理

TEL 0558-94-3333
フリーダイヤルTEL 0120-04-1260
ホームページ <http://tokiwaya.info>



企業の繁栄と社会貢献

沼津法人会 戸田支部

支部長 木村 稔
事務局 沼津市商工会 戸田支所
0558-94-2224
(担当 高田)



輝く職人さん
森工業株式会社
野崎 一江様

靴紐・組紐の製造している森工業(株)は、富士市に隣り合わせの石川に位置しています。昭和三十年に創業して、紐の製造一筋に五十数年の長きに渡り活躍しております。生産量は、靴紐が一割残りが組紐となっています。靴紐は、シューズメーカー大手の「アキレス」に納入しております。組紐は紙バック等の紐の部分に使われます。近年、紐の生産拠点は中国そしてベトナム・インドネシアに移り、非常に厳しい現況

下にあります。これに対処する為に、良い材料とより良い設備を用いて、高品質で付加価値の高い物に絞って生産すべく企業努力をしています。紐の生産歴二十五年の野崎一江(五八)さんにお聞きしました。五百台の機械を女性五人で動かしていますが、細い糸の作業の場合に糸が切れやすいので注意が必要です。紐の出来る工程を興味深く見せてもらい、製造業の大切さを感じました。久保田 正彦

8/2 原・浮島
ふるさと夏まつり



7月の行事予定

- 7月2日(水) 原・浮島ふるさと夏まつり 第2回実行委員会
- 18日(金) 原・浮島ふるさと夏まつり 第3回実行委員会
- 29日(火) 原・浮島ふるさと夏まつり 正副部長会議
- 8月2日(土) 原・浮島ふるさと夏まつり

2007~2008年度 国際ロータリーテーマ

ロータリーは分かちあいの心

沼津西ロータリークラブ テーマ 心豊かに活動奉仕

沼津法人会 原支部

めざます企業の繁栄と社会への貢献

修行僧体験「座禅と托鉢」開催される
 浄財は社会福祉に寄付

「原・浮島歴史と文化のまちづくり」原・浮島実行委員会は、平成二十年 第一回修行僧体験を、六月七日(土)松蔭寺宮本圓明住職の指導により開催しました。自分を見つめ、自分にうち勝つ座禅・人の慈悲にふれる托鉢などにより、今の時代に一番求められている、自分に厳しく人には優しくと言う、白隠禅師の教えを経験しました。修行僧体験は、平成十三年の東海道四百年祭を契機に、年二回のペースで開催し、今年で八年目になります。今回は、座禅十九名托鉢は十名の参加でした。尚、托鉢で喜捨いただいた浄財は、社会福祉協議会に寄託して福祉に役立てていただいております。原地区コミュニティ推進委員会 副会長 斎藤 好行

